

## 令和元年度喜多方市社会福祉協議会業務執行状況

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

### I 総務事業部門

#### 1. 法人の運営

##### (1) 理事会・評議員会の開催

###### 【理事会】

- |            |   |
|------------|---|
| 令和元年 5月29日 | <ul style="list-style-type: none"><li>○平成30年度事業報告について</li><li>○平成30年度社会福祉事業会計収支決算について</li><li>○議員会の開催について</li><li>○評議員候補者(補欠)の推薦について</li></ul> ※出席者 理事11名、監事1名  |
| 令和元年 6月18日 | <ul style="list-style-type: none"><li>○会長、副会長及び常務理事の選定について</li></ul> ※出席者 理事11名、監事2名  |
| 令和元年12月13日 | <ul style="list-style-type: none"><li>○評議員候補者(補欠)の推薦について</li><li>○評議員会の開催について(書面決議)</li></ul> ※出席者: 理事7名、監事2名   |
| 令和2年 1月10日 | <ul style="list-style-type: none"><li>○令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算&lt;第1次&gt;について</li><li>○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について</li><li>○パート職員雇用管理規程の一部改正について</li><li>○喜多方市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所の事業休止について</li><li>○令和2年1月評議員会の開催について</li><li>○副会長の選定について</li></ul> ※出席者: 理事11名、監事1名 |
| 令和2年 3月19日 | <ul style="list-style-type: none"><li>○令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算&lt;第2次&gt;について</li><li>○令和2年度事業計画について</li><li>○令和2年度社会福祉事業会計収支予算について</li></ul> ※出席者: 理事10名、監事1名  |

【評議員会】

- 令和元年 6月11日 ○理事の選任について  
○監事の選任について  
※出席者 評議員12名、監事1名
- 令和元年 6月18日 ○平成30年度事業報告について  
○平成30年度社会福祉事業会計収支決算について  
※出席者 評議員15名、監事2名
- 令和元年12月26日 【書面議決】  
○理事の選任について
- 令和2年 1月20日 ○令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算<第1次>に  
ついて  
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について  
○パート職員雇用管理規程の一部改正について  
○訪問入浴介護事業所の事業休止について  
○平成30年度社会福祉事業会計収支決算について  
※出席者：評議員14名、監事1名
- 令和2年 3月26日 【書面議決】  
○令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算<第2次>に  
ついて  
○令和2年度事業計画について  
○令和2年度社会福祉事業会計収支予算について

(2) 監事会の開催並びに会計指導の実施

【監事会】

- 令和元年 5月21日 ○平成30年度事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算  
についての監査  
※出席者 監事2名、会長、常務理事
- 令和元年12月17日 ○令和元年度上期事業報告並びに社会福祉事業会計収支  
決算についての監査  
※出席者 監事2名、会長、常務理事

【委嘱会計事務所による会計指導】

- 令和元年 5月 7日 ○平成30年度決算に係る会計指導  
令和元年12月 4日 ○令和元年度上期決算に係る会計指導

(3) 評議員選任・解任委員会

令和元年 6月 7日 【書面議決】

○評議員（補欠）の選任について

令和元年12月17日 ○評議員（補欠）の選任について

(4) 苦情解決第三者委員会

令和元年 7月29日 ○苦情の受付及び対応について

令和2年 3月19日 ○苦情受付の状況について

(5) 役員・評議員候補者推薦委員会

令和元年 5月23日 ○理事、監事、評議員推薦候補者の選定について

(6) 正副会長会議の開催

理事会、評議員会の提出議案について協議を行った。

令和元年 5月24日

令和元年 6月18日

令和2年 3月16日

(7) 役員・評議員合同研修会

令和元年12月13日 研修先：須賀川市社会福祉協議会

内 容：災害ボランティアセンターの運営と災害時の地域福祉活動について

参加者：理事、監事、評議員、職員 計14名

(8) 賛助会員の拡充

8月を賛助会員加入強化月間と位置づけ、本会の活動に対する理解を頂くため、現会員の事業所、団体等に訪問し継続加入の依頼を行なった。

※ 訪問企業・事業所等 179件

(9) 第15回喜多方市社会福祉大会の開催

福祉に携わる公私の機関、団体、市民の皆さんが一堂に会し、社会福祉に関する理解を深め、更なる充実に向けた啓発を図る機会とするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝の意を表するため社会福祉大会を開催した。

開催日 令和元年11月20日（水）

会場 喜多方市総合福祉センター

表彰 社会福祉大会長表彰 5件 社会福祉大会長感謝 3件

共同募金会長感謝 (寄附) 21件 (奉仕) 27件  
 記念講演 「笑いは元気の常備薬～ ぼけないためにボケまくる～」  
 コメディアン コント山口君と竹田君  
 参加者数 380名

(10) ふれあい社会福祉講座の開講

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 令和元年7月10日(水) 午後1時30分 (89名)

テーマ 「目の話し、あれこれ」

講師 医療法人いとう眼科 院長 伊藤陽一氏

第2講 令和元年7月25日(木) 午後1時30分 (104名)

テーマ 「それうそかも? 振り込め詐欺にご用心」

講師 福島県警音楽隊

第3講 令和元年7月31日(水) 午後1時30分 (92名)

テーマ 「家族をつなぐ“自分らしい”終活」

講師 一般社団法人ココロエ代表理事

(有限会社佐藤石材店 代表取締役) 佐藤周一郎氏

○聴講者延べ 285名 全三講聴講者50名

(11) 『社協だより』の発行とホームページ・フェイスブックによる情報発信

①社協だより・・・社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付

発行：5月、8月、11月、2月(年4回) 発行部数：18,500部

②情報発信ツールの利活用・・・本会の事業内容を幅広い市民層に周知するためホームページ及びフェイスブックを活用し情報発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

年間閲覧者数 142,473件

※フェイスブックアドレスについては本会ホームページより参照

年間閲覧者数 6,851件

(12) 児童館の活動支援

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、児童厚生員を配置しその運営支援に努めている。

(令和2年3月現在)

児童館等名	登録児童数	年間延べ受入人数
中央児童館	69名	13,667名

上三宮児童館	12名	2,626名
岩月児童クラブ館	25名	5,049名
関柴児童館	35名	8,483名
熊倉児童クラブ館	33名	6,766名
慶徳児童クラブ館	31名	5,954名
豊川児童クラブ館	38名	8,650名
喜多方児童クラブ館	120名	22,530名
松山児童クラブ館	76名	14,615名
しきみ児童クラブ館	80名	17,260名
計	519名	106,600名

(※喜多方地区内の児童館等について市より一部受託)

(13) 介護職員養成・定着化事業（介護パワーアップ事業）

1) 介護職員初任者研修

地域における介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護初任者研修を実施した。

・夜コース 令和元年7月16日から12月26日まで 修了者13名

※昼コースは受講希望者3名のため中止（他実施機関を紹介）

2) キャリアアップ研修支援事業

市内施設勤務の介護職員等の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、従業者の安定的雇用につなげるため研修費用を助成した。

実務者研修受講者 9名

初任者研修受講者 4名

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した者に対し奨励金を支給した。

市内在住者 28名 市外在住者 13名

(14) 家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）の実施

在宅で高齢者等を介護する市民の方を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を目的とし、家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

・日帰りリフレッシュ事業（令和元年10月17日）

参加者： 9名 行先：北塩原村 ホテルグランデコ、裏磐梯

・一泊リフレッシュ事業（令和元年10月10日・11日）

参加者：11名 行先：宮城県遠刈田温泉、仙台うみの杜水族館  
日赤福島県支部（生活支援講習会）

(15) 火災等災害見舞金交付事業

火災及び風水害等の自然災害で生命、住居に被害のあった市民に対し、地域福祉の住民相互の助け合いの趣旨に基づき災害見舞金を交付した。

交付件数：住宅火災（全焼）	3件
〃（半焼）	1件
災害に伴う死亡	2名

(16) 健康事業所宣言と職員の健康維持向上の取組み

協会けんぽ福島支部との共催事業にて「健康事業所宣言」事業に参加し、今年度のメインプランを「高血圧対策」とし、職員に対する啓蒙啓発を行っている。

(17) 職員の資質向上

福島県社会福祉協議会や関係団体等が主催する職務、職階、テーマごとの研修会に参加するとともに、事業部門ごとに行う内部研修や、管理者会議でのミニ研修を通して職員の知識の習得と資質の向上を図った。

(17) 健全経営検討委員会

本会が安定し永続的に事業運営するため介護事業の今後の在り方や、補助事業・委託事業のルールの見直し等を検討するため、本会並びに市担当課長にも参加いただき会議を開催した。（令和元年7月12日）

## 2. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター	利用人員	10,184名	(開館日数	211日)
多目的ホール	利用者数	4,954名	(利用回数	244回)
2階会議室	利用者数	2,196名	(利用回数	140回)

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者）	営業日数	303日	延利用者数	65,267名
運動施設（ゲートボール場）	利用日数	172日	延利用者数	2,222名

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布したり、敬老の日に利用客（70歳以上）にキャンディを配り、日頃の感謝と、今後も引き続きご利用いただけるようにPRを行った。

保養施設（温泉入場者）営業日数	309日	延利用者数	23,975名
巡回福祉バス運行 延日数	42日	(1,237名利用)	

(4) 生活支援ハウス事業（しゃくなげホーム・かたくり荘）

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス	10部屋	1名入居	(3月末現在)
○高郷生活支援ハウス	7部屋	4名入居	(3月末現在)

(5) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生産品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

令和元年度会員登録者数	134名	(※昨年度 137名)
-------------	------	-------------

### 3. 介護保険事業

\*\*\* 別 掲 \*\*\*

## I 地域福祉部門

### 1. 地域福祉事業

#### (1) 福祉活動支援金制度への理解と協力

自主財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を努めた。

福祉活動支援金実績額：6,426,006円（昨年度6,400,450円）

#### (2) 地域福祉活動計画の策定

喜多方市が策定する地域福祉計画と一体となり本協議会が策定する地域福祉活動計画について、市民の声を反映した計画とするため、市内福祉施設や福祉団体等10名の代表者で構成する域福祉活動計画策定委員会を設置し計画づくりに取り組み、令和2年3月に発行し、全戸に概要版を配布した。

策定委員会の開催 4回開催

#### (3) ふれあいきたかた社協まつりの開催

本会事務事業について、市民が気軽に参加できるイベントをとおして一層の理解を深めることを目的に「ふれあいきたかた社協まつり」開催した。

日時 令和元年9月14日（土）

会場 喜多方市総合福祉センター

参加者 341名

内容 ・パネルによる社協事業及び共同募金、福祉団体の取組み内容の紹介  
・福祉スタディ「盲導犬とのふれあい」  
・ポッチャ体験・大会（12チーム参加）  
・デイサービス体験、ヘルパーによる手浴体験  
・擬似体験コーナー（高齢者、チャイルドヴィジョン等）  
・災害時の食事体験・防災ライフハック  
・高齢者のひろば（脳トレ、まちかど相談室等）  
・キッズスペース、模擬店、福祉バザー

#### (4) おもちゃ図書館事業の推進

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供している。

本所	3月末利用人員延	<u>3,598名</u>	開館日数	<u>89日</u>
熱塩加納支所	3月末利用人員延	<u>113名</u>	開館日数	<u>12日</u>
塩川支所	3月末利用人員延	<u>542名</u>	開館日数	<u>39日</u>
計	3月末利用人員延	<u>4,253名</u>	開館日数	<u>140日</u>



(5) 子育て支援事業

○子育てイベントの実施

おもちゃ図書館の開催にあわせて、季節ごとのイベントを実施した。

第1回	こいのぼり製作	平成31年4月26日	26名参加
第2回	たのしい人形劇	令和元年5月21日	28名参加
第3回	ベビーマッサージ	令和元年6月25日	42名参加
第4回	七夕製作	令和元年7月5日	45名参加
第5回	プチ夏祭り(プチ映画会・流しそうめん)	令和元年8月6日	80名参加
第6回	親子交通安全教室	令和元年9月10日	39名参加
第7回	バス遠足	令和元年10月2日	16名参加
第8回	リズム遊び	令和元年11月1日	43名参加
第9回	キッズ運動会	令和元年11月26日	85名参加
第10回	クリスマス製作	令和元年12月13日	83名参加
第11回	たのしい人形劇	令和2年1月21日	39名参加
第12回	豆まき	令和2年1月31日	71名参加
第13回	ひなまつり製作	令和2年2月28日	25名参加

○キッズスペースの設置

おもちゃ図書館開館以外の日でも、子どもや子育て中の保護者同士が交流できる居場所として、常設のキッズスペースを総合福祉センター2階ロビー内に設置した。(3月末利用者数延 834名)

(6) 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用に関する援助や日常的な金銭管理等を援助し、地域で安心して生活することができるように権利擁護を図った。

3月末実利用件数 9件

(7) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること	35件	○年金に関すること	0件
○家族関係に関すること	8件	○就労に関すること	0件
○医療に関すること	0件	○生活全般に関すること	19件
○その他	21件	計	83件

(※介護相談、生活困窮者支援事業に関する相談は除く)

(8) 福祉と介護の出張講座

喜多方市内の小中学校及び高等学校の研修、講座等に職員の派遣を行った。

- ・喜多方市立第三中学校3年生 令和元年6月27日(木) 参加者：74名
- ・福島県立喜多方高等学校2年生 令和元年11月5・6・8・11日(計4日間)  
参加者：128名

(9) 高齢者生きがい対策事業の実施

①陶芸教室の開催

高齢者のいきがいつくりの一環として塩川地区において陶芸教室を開催した。

塩川地区 会員数 37名(延べ 698名) 活動日数 96日

会員研修の実施 手びねり講習会22名、秋日帰り20名参加

②高齢者支援事業の実施

- ・塗物町おためしサロン事業(本所) 37名参加
- ・閉じこもり予防事業
  - 【集合昼食会】(山都支所) 23名参加
  - 【ぶどう狩り】(山都支所) 29名参加
  - 【観劇ほか】(山都支所) 23名参加
  - 【集合昼食会】(高郷支所) 14名参加
  - 【ぶどう狩りほか】(高郷支所) 8名参加

(10) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会
- 2) ふれあい福祉協議会
- 3) 老人クラブ連合会
- 4) 赤十字奉仕団
- 5) 日本赤十字社有功会
- 6) 手をつなぐ親の会
- 7) 身体障がい者福祉会
- 8) 福島いのちの電話
- 9) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 10) 更生保護協議会
- 11) 遺族会連絡協議会

(11) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、無料貸出を行った。

貸出件数 19件 (喜多方4件、塩川13件、山都2件)

(12) NPO法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子ど

もたちのために役立つ活動に協力した。

精製貴金属量 643g

(13) 資源回収の取組み (エコキャップ)

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ 2, 221キログラム (ポリオワクチン換算 1,110人分)

## 2. ボランティアセンター事業

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

① ボランティア協力指定校の指定

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校の指定及び活動を積極的に推進している。(市内小・中・高校)

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校  
喜多方東高校 耶麻農業高校

※交付額 50,000円 (1校につき)

○モデル校

ボランティア活動普及事業協力校の一層の活性化と、その取組みがモデルとなり他校へ波及させることを目的に、小学校1校・中学校1校をモデル校として指定(2年間)し、事業推進にあたっての連絡調整を行った。

・モデル校 平成30・31年度 第一小学校、第三中学校  
平成31年度・令和2年度 塩川小学校、会北中学校

② サマーショートボランティアスクールの実施

夏休みを利用したボランティア体験の場として、サマーショートボランティアスクールを実施した。

喜多方地区	高校生	8名	
熱塩加納地区	中学生	12名	小学生 3名
塩川地区	小学生	13名	
山都地区	小学生	1名	

(2) 傾聴ボランティア事業

①養成講座の開講

市内施設等からの傾聴活動のニーズに対応するため、新たなボランティア活動者の発掘・養成を目的に傾聴ボランティア養成講座を開催した。

開催日 第1講 9月 4日 (8名参加)

第2講 9月11日 (9名参加)

第3講 9月18日 (9名参加)

講師 会津大学短期大学部 准教授 木村淳也 氏

修了者 8名 (全3講受講者)

②傾聴ボランティアのコーディネート

市内の14福祉施設(特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホーム)を活動の場として、傾聴ボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 32名

ボランティア活動回数(延べ) 265回

(3) 除雪ボランティア事業(中止)

例年、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減と世代間交流を目的に実施してきたが、令和元年度は積雪が少ないことにより、全地区で中止とした。

(4) 朗読・点訳ボランティア事業

①視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。

○毎月1回・利用者 5名 朗読ボランティア 8名

②点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数5名

(5) 福祉レクリエーションボランティア事業

【福祉レクリエーションボランティアのコーディネート】

市内のサロン及びミニサロン等を活動の場として、福祉レクリエーションボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 7名(2グループ)

ボランティア活動回数 15回

(6) 子育て支援ボランティア事業

【子育てボランティアのコーディネーター】

本会で実施しているおもちゃ図書館を活動の場として、子育てボランティアのコーディネーターを実施した。

ボランティア登録者数	3名
ボランティア活動回数	35回

(7) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 15』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 15』を発行した。

(8) 福祉ボランティア等活動事業

・一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア（熱塩加納地区）	1回実施	54名参加
・修養団との地域ボランティア（山都地区）	1回実施	44名参加
・炊き出し訓練（高郷地区）	1回実施	18名参加
・かたくり荘清掃ボランティア（高郷地区）	2回実施	39名参加

(9) 災害ボランティアセンターの体制整備

災害時に災害ボランティアセンターを設置し、住民に対する円滑な生活支援を行えるよう、下記による体制整備を行った。

- ・平成31年4月1日 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの整備
- ・平成31年4月1日 会津喜多方青年会議所との災害時における協力に関する協定の締結

3. 生活支援体制整備事業（地域包括ケアシステム推進）

地域における支え合いのまちづくりを推進するため、地域の生活実態、ニーズの把握に努めるとともに、支え合いの仕組みを住民主体で話し合う場「生活支援支え合い会議」の設立に取り組んだ。

(1) 第2層生活支援コーディネーター業務

- ・地域ごとの生活実態、たすけあいの現状と福祉・生活課題の把握に努めた。

項目	件数
訪問	122件
来所	36件
その他	23件
計	181件

・地域の社会資源の開発

高齢者のいきがいと健康づくりに供するサロン拡充のため、喜多方地区ふれあい福祉協議会と連携による地域懇談会を開催し、塗物町のサロン新設に取り組んだ。

(2) 第2層生活支援支え合い会議の新規設置及び設置に向けた取り組み

<山都地区> 令和元年12月16日設置

山都地区生活支援支え合い会議 愛称「山都いいであい、支えあい」

※取り組み状況

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| ・設立に向けた説明会及び準備会 | 26回 |
| ・生活支援支え合い会議の委員数 | 20名 |
| ・生活支え合い会議の運営    | 2回  |

<駒形地区> 令和2年2月22日設置

駒形地区生活支援支え合い会議 愛称「げんきネットこまがた」

※取り組み状況

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| ・設立に向けた説明会及び準備会 | 4回  |
| ・生活支援支え合い会議の委員数 | 23名 |
| ・生活支え合い会議の運営    | 1回  |

<高郷地区> 準備会の開催

生活支援支え合い会議の設置に向けて、地域の代表者と市総合支所職員、社会福祉協議会職員による準備会を立ち上げた。

- |               |     |
|---------------|-----|
| ・準備会          | 3回  |
| ・地域への説明会、連絡調整 | 16回 |

(3) 第2層生活支援支え合い会議の運営、支援

<熊倉地区>

- ・熊倉地区生活支え合い会議運営・支援 10回

熊倉地区は高齢化率が高く、また降雪量が多いことから、除雪支援について協議し、た結果、除雪支援隊が新たに1団体登録され、計3団体となった。

今後、見守り活動について協議する。

<熱塩加納地区>

- ・熱塩加納地区生活支え合い会議運営・支援 12回

老人クラブとの意見交換や、山間部の視察研修、デマンド交通体験を行い、地域の現状把握に努めた。また、「炭坑節」の曲に合わせた独自の体操を考案し、介護予防に取り組んだ。

(4) 他機関・団体等の連携

- 高齢福祉課及び総合支所住民課との打ち合わせ及び連携
- 行政区長会、福祉団体及び地区公民館との連携

行政区長会や支部社協、各地区ふれあい福祉協議会で、地域包括ケアシステムの概要や、取組み方法、必要性などを説明するとともに、地区公民館職員との打ち合わせを通し、地域包括ケアシステムの構築に向けた連携強化と、地域における支え合いのまちづくりについての理解を深めた。

○PR活動 ※講習会や勉強会等への出席依頼6回（上三宮まちづくり委員会、居宅部会、市ボランティア連絡協議会、天心会、喜多方消防署、全会津介護支援専門員協会 第2回研修会(パネラー) 、ラジオ番組出演)

※社協だよりへの掲載（2月1日号）

○会議等への出席 41回（包括連絡会への出席、ケア会議・地域ケア会議等、地区民生児童委員協議会、地域福祉活動計画検討委員会ほか）

#### (5)「ふれあいきいきサロン」の開設（38箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいきいきサロン」の開設と運営を支援している。

松が丘いきいきサロン	喜多方	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方
村松三区いきいきサロン	喜多方	清水台いきいきサロン	喜多方
関柴地区いきいきサロン	喜多方	東四ッ谷いきいきサロン	喜多方
ひばりが丘いきいきサロン	喜多方	上三宮二区いきいきサロン	喜多方
渋井いきいきサロン	喜多方	寺町いきいきサロン	喜多方
花園いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ユーアイサロン	喜多方
幸町いきいきサロン	喜多方	栄町いきいきサロン	喜多方
(新) 上町いきいきサロン	喜多方	(新) いなだいきいきサロン	喜多方
(新) 吉沢いきいきサロン	喜多方	野辺沢いきいきサロンたんぽぽ	熱塩加納
針生ひだまりサロン	熱塩加納	半在家いきいきサロン	熱塩加納
柴城地区いきいきサロン	塩川	上窪地区いきいきサロン	塩川
別府いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
藤沢いきいきサロン	山都	広野いきいきサロン	山都
小布瀬原いきいきサロン	山都	ふなひいきいきサロン	山都
木曽いきいきサロン	山都	千咲原いきいきサロン	山都
松ヶ丘いきいきサロン	山都	舘原いきいきサロン	山都
(新) 宮古いきいきサロン	山都	寺内いきいきサロン	山都
(新) 上林いきいきサロン	山都	西黄地区いきいきサロン	高郷

(6) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業	18箇所
交流事業	10箇所
交付額計	276,000円

(7) 支部社協事業の活動支援

1) 支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

2) ふれあいネットワーク事業（支部社協事業）

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネットワーク事業」を実施した。

・ネットワーク活動延べ件数 1,754件

3) 支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議を1回（令和2年2月27日）開催した。

4. 地域包括支援センター事業

高齢者の方々が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組むとともに、総合相談及び支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を積極的に推進した。また、喜多方市高齢福祉課との連携を密にし、虐待や認知症等の困難ケースの対応を図った。

(1) 相談等の受付

相談・援助内容	相談件数 (延べ)	相談人数 (延べ)
① 介護予防支援事業に関すること	10,562件	2,813人
② 総合相談支援に関すること	3,048件	1,063人
③ 権利擁護事業に関すること	269件	46人



④ 包括的継続的支援に関すること	93 件	31 人
⑤ 実態調査	128 件	108 人
⑥ 苦情に関すること	4 件	2 人
合 計	14,104 件	4,063 人

(2) 介護予防等事業の実施

事業名	回数
介護予防事業（介護予防教室）、介護者教室等	31回
講師派遣、他団体への協力等	14回
街かど相談室、ケアマネ相談室	5回

(3) 喜多方市及び関係機関との連携及び協力

会議等名	回数
地域包括支援センター連絡会	10回
介護保険事業関連事業者連絡協議会（8部会）	30回
グループホーム運営推進会議	40回
地域密着型特定施設運営推進会議	53回
各地区民生児童委員協議会定例会	142回
権利擁護担当者会議、虐待対応会議	49回
専門職員研修会、会議等への参加	115回
介護相談員定例会	11回
老人ホーム入所判定会への出席	2回

1) 地域ケア会議（包括ケア会議・地域ケア会議）

高齢者個別のケースに対して、医療、介護等の多職種が協働して課題の解決を図るため、地域ケア会議を開催した。

開催回数 22回（3層個別ケア会議16回／2層包括ケア会議6回）

2) 介護予防支援計画

自立した日常生活を継続できるよう支援するため、介護予防のための健康増進を図り、また、介護が必要となった際の身体能力の維持・向上のため介護予防支援計画を作成した。

計画件数 5,776件  
（うち委託件数） 1,269件

## 5. 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業）

生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市の要請を受けて生活サポートセンター事業を受託し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談に応じている。

また、平成29年4月1日より家計改善支援事業を受託し、支払いや負債などの相談に応じ、健全な家計に向けての支援を行っている。

### （1）生活困窮者に対する包括的相談支援事業

新規相談	66名
自立支援プラン策定件数	55件
	家計再生プラン 21件
就労決定件数	24件
支援実施延べ回数	2,221回 (面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、支援調整会議、他機関への照会等)

※なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

### （2）関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

民生児童委員や福島県社会福祉協議会をはじめとする関係機関との連携を図り、生活困窮者相談支援の充実に努めた。

また、社会福祉法人や企業等を訪問し制度説明や就労支援についての周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

### （3）支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

令和元年度開催 11回

### （4）小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活を送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

3月末貸付件数 39件（1,794,000円）

### （5）生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金）の貸付

福島県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続き、援助を行った。

3月末受付件数 19件(5,930,000円)

うち、新型コロナウイルスに係る特例貸付 1件(20万円)

#### (6) フードバンク事業

コープ東北サンネット事業連合との協定による食料品の提供のほか、コープあ  
いづ及び㈱カーブスジャパンのフードドライブ活動や、市民からの寄附により食  
料品を確保し、生活困窮者に対し食料品の提供を行った。(平成27年10月23  
日協定締結)

令和元年度提供実績 60世帯(延べ138回)

#### (7) 「こども食堂」への支援と連携

市内に2箇所となった「こども食堂」、子どもの居場所「れんが」との情報の共  
有を図り、未就学児・児童等を抱える生活困窮世帯への支援につなげるためフー  
ドバンクを通じて食料品の提供を行うとともに、支援世帯及び支援団体等との関  
係強化と実態把握のため親子バス旅行に協力した。

こども食堂(2箇所) 延べ21回

子どもの居場所「れんが」 延べ5回

#### (8) 広報・周知について

生活サポートセンターの取り組みを広く理解いただくため、リーフレットを刷  
新し民生児童委員に配布するとともに、喜多方市役所・各総合支所及び社協本  
所・支所の窓口や関係機関を通して市民へ配布を行った。また、社協だより(年  
4回)への掲載や、FMきたかたの番組「茶の間のふくし」に出演するなどし、  
PR活動に努めた。

### 6. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

#### (1) 避難をされている方への情報提供

大熊町をはじめから東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を  
余儀なくされている方に対し、喜多方市総合福祉センター2階に情報スペースを  
設置し、情報の提供に協力した。

### 7. 日本赤十字社への協力

(1) 人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力、災害  
時の救援物資の配分、献血事業推進や高齢者支援活動等への協力を行った。

○社資実績額 7,061,674円

目標達成率 97.3%

○災害時救援物資配布件数 3件

## 8. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8,401,308円

歳末たすけあい募金実績 4,089,824円

### ○街頭募金の実施

- ・COOP-BESTA ひがし店 ・COOP-VALUE プラザ ・ヨークベニマル喜多方店
- ・リオンドール喜多方西店 ・リオンドール仲町店 ・ブイチェーン喜多方店
- ・COOP-VALUE しおかわ店 ・COOP-BESTA とねがわ店 計 8カ所
- ※募金ボランティア参加者 小学生15名、中学生16名、高校生16名  
計 47名

### ○イベント募金の実施

- ・第3回ふれあいきたかた社協まつり ・第15回喜多方市社会福祉大会
- ・あつしおかのう文化祭 ・塩川町文化祭 ・ふるさと山都の文化祭
- ・たかさとまち文化祭 計 6カ所

### ○その他募金の実施

募金型自動販売機・ガチャガチャ募金の設置

## 9. 災害支援

### ○福島県社協との災害協定に基づく職員の派遣

令和元年10月に発生した台風19号による災害に対し、被災地支援として現地災害ボランティアセンター運営応援に職員を派遣した。

- ・須賀川市災害ボランティアセンター 10月17日～11月1日 延べ15名
- ・郡山市災害ボランティアセンター 10月20日～12月1日 延べ29名

### ○義援金の募集

大規模災害特例の指定を受けた、下記災害に対する義援金として、日赤及び共募の連名で本会ホームページや広報誌を通じて広く募集した。

また、11月19日に開催された第14回ふれあいきたかた農業まつりにおいて、学生ボランティア及び市農業振興課の協力のもと、イベント内で街頭募金を実施した。

- ・令和元年台風15号千葉県災害義援金 11,062円
- ・令和元年8月豪雨災害義援金 11,062円
- ・令和元年福島県台風第19号災害義援金 799,886円